

業務の新聞

第34号 平成30年 12月 6日

次期ダイヤ改正

来年3月に予定されている次期ダイヤ改正について、東日本ユニオン本部に対して本社は、「各支社でダイヤ改正について十分に論議されている」として『ダイヤ改正経協は行わない』と通告してきました。

東京支社においても、この間ダイヤ改正ごとに行ってきた“ダイヤ改正経協”を行わないと地本に話がありました。

本社は「支社で十分話されているから」として、本社一本部間の論議な場を閉ざし、支社では「本社が行わないから？」なのか支社―地本間の“ダイヤ改正”の論議の場を減ずる。会社は何を考えているのでしょうか？

職場に掲出された「乗務員勤務制度の見直し」が反映された“ダイヤ改正”スケジュール表に「職場での意見聴取」があるにも関わらず、とある職場では、“一部の社員だけ”で済ませたケースもあるようです。

これらのことは、会社の意思疎通・マネジメントが残念ながら、十分に機能していないという表れと言わざるを得ません。私たちは、労働条件・労働環境の維持・向上を進めるためにキチンと経営側と向き合い労働組合としてみなさんの声をもとに、是非々々で取り組みを進めます。

基地再編説明会

支社は、「基地再編」について、成案になってから、具体的になってから、労働組合に『提案する』としていきます。

“職場説明会”に是非参加いただき、声を発してください。ここが私たちのスタートになります。

エルダー社員制度

エルダー社員制度については、スケジュールであったり、コミュニケーションであったり、制度の運用においての『不備』を正すため、会社側と論議を継続的に行っています。

『不備の改善』『問題点の抜本的な解決』には、まだまだ至っていません。

3月にエルダー出向先を提示する。

本人希望に沿って調整する。

コミュニケーションの質を高める。

十分な情報提供を行う。

等々、クリアすべき課題は繰り返され悔しい思いをしてきました。

次年度には東京地本では14名の先輩方がエルダー社員制度を希望しています。

組合員・家族の幸せのために、会社の言う「セカンドキャリア」を気持ち良く・堂々とスタートさせるために、最大限の努力を行ってまいります。

思いつくままに

支社内で庁舎や詰所の新改築が計画され工事が施工されています。なかには先に述べた『基地再編』に該当する箇所もあります。また寝室や詰所の設備や備品の交換などもありました。

「ありがたいこと」ではあるのですが、“お金”のことを考えると???となってしまう。“ウン十万”のイスや“ウン万円”のスタンドテーブルが必要なのでしょうか？

「ホームセンターで買えばもっと抑えられるのに!!」と言う仲間たちの声は的を射たものだと感じました。“モノ”や“レイアウト”にしても使わせる側の外的な感じは否めません。

良い会社・良い職場を創造するためにもっともっと努力が必要です。